

2011年7月26日

各 位

J X 日 鉱 日 石 金 属 株 式 会 社  
三 井 金 属 鉱 業 株 式 会 社  
パ ン パ シ フ ィ ッ ク ・ カ ッ パ ー 株 式 会 社  
三 井 物 産 株 式 会 社

チリ国「カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクト」に係る融資契約締結について

J X 日 鉱 日 石 金 属 株 式 会 社（本社：東京都千代田区大手町二丁目，社長：岡田昌徳）および三井金属鉱業株式会社（本社：東京都品川区大崎一丁目，社長：仙田貞雄）の共同出資による銅事業会社パンパシフィック・カッパー株式会社（本社：東京都千代田区大手町二丁目，社長：足立吉正，以下「PPC」）および三井物産株式会社（本社：東京都千代田区大手町一丁目，社長：飯島彰己，以下「三井物産」）が出資するミネラ・ルミナ・カッパー・チリ社（本社：チリ国サンチャゴ、出資比率は PPC 75%，三井物産 25%）は，本日（7月26日），「カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクト」（以下「本プロジェクト」）のための資金（開発投資額（生産設備等初期投資額）は概算で約 20 億米ドル）に関し，関係金融機関等との間で，総額 14 億米ドルの融資契約を締結しました。

今般締結された融資契約は，

- ① 国際協力銀行（JBIC）および民間銀行 4 行（三菱東京 UFJ 銀行（幹事行），みずほコーポレート銀行，三井住友銀行，香港上海銀行）による総額 11 億米ドル（約 880 億円\*<sup>1</sup>）のプロジェクトファイナンス
- ② 民間銀行 5 行（三菱東京 UFJ 銀行（幹事行），みずほコーポレート銀行，三井住友銀行，中央三井信託銀行，住友信託銀行）による総額 3 億米ドル（約 240 億円\*<sup>1</sup>）の長期融資の 2 つのパッケージから組み立てられています。

上記①については，独立行政法人日本貿易保険（NEXI）が，資源エネルギー総合保険を民間銀行 4 行に対して付保し，上記②については，独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）が，プロジェクトリスクを引受けのうえ付保する海外開発資金債務保証を民間銀行 5 行に対して供与します。

本プロジェクトは，日本企業が 100%の権益を有する大型銅・モリブデン鉱山開発であることから，わが国主要関係政府系機関である JBIC，NEXI および JOGMEC の機能をすべて活用し，まさに国を挙げての「海外鉱物資源確保ワンストップ体制\*<sup>2</sup>」のもと，推進するものです。

なお，本プロジェクトの概要は別紙のとおりです。開発進捗状況は極めて順調であり，計画通り 2013 年中の商業生産開始を予定しています。

本プロジェクトの推進により、PPCグループ傘下の国内製錬所が調達する原料に占める自山鉱比率は20%弱から約50%に向上し、原料の安定調達に資するとともに、我が国金属資源の安定供給にも大きく貢献することができるものと考えています。さらにレアメタルであるモリブデン供給の一角を当プロジェクトも担ってゆくこととなります。

三井物産は、長期的視点に立った優良金属資源権益の獲得、拡大を重点分野と位置付けています。本プロジェクトの推進を通じ、銅事業ポートフォリオを拡充すると共に、引き続き優良パートナーとのネットワークをさらに強化し、新規権益取得に取り組んでまいります。

\*1：1米ドル=80円にて換算

\*2：海外鉱物資源確保の観点から、政府（経済産業省および外務省）ならびに関係政府系機関（JBIC, NEXI, JOGMEC等）が密接に連携し、それぞれが実施する支援策を体系的に整理し、我が国企業による海外での事業を支援する体制

以 上

**【お問い合わせ先】**

JX 日鉱日石金属株式会社 総務部広報担当：TEL 03-5299-7079

三井金属鉱業株式会社 総務部広報室：TEL 03-5437-8028

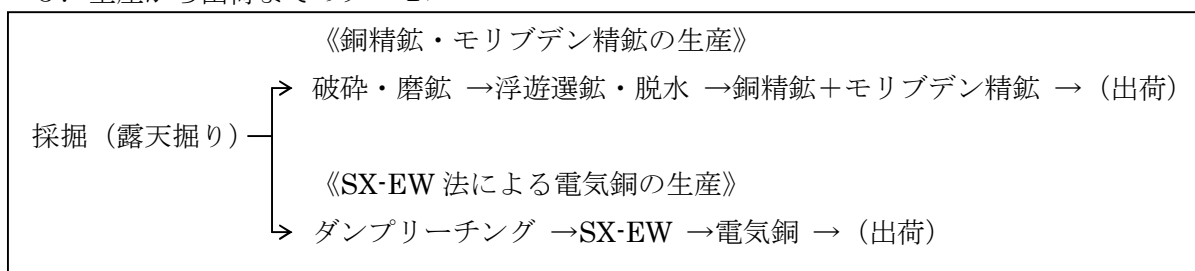
パンパシフィック・カッパー株式会社 総務部：TEL 03-5299-7402

三井物産株式会社 広報部：TEL 03-3285-6645

(別紙)

### カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクトの概要

1. 建設期間： 2010年～2013年
2. 操業開始： ・SX-EW法による電気銅生産 2013年1月  
・銅精鉱・モリブデン精鉱生産 2013年9月
3. 生産期間： 2013年～2040年(28年間)
4. 生産方法： 銅 「SX-EW法による電気銅生産」と「精鉱生産」の併用  
モリブデン 精鉱生産
5. 生産から出荷までのプロセス



(注)

- ・ダンブリーチング：鉱石を粉砕せず堆積させ、希硫酸を散布し、銅を浸出(リーチング)する方式。
- ・SX-EW法：溶媒抽出電解採取法。銅の浸出液から銅イオンを選択的に回収(溶媒抽出)し、この硫酸銅液から電解採取により電気銅を生産する。現在、世界の鉱山銅生産量の約20%を占める。

### 6. 採掘対象鉱量

鉱石	鉱量 (億トン)	銅品位 (%)	モリブデン品位 (ppm)
銅精鉱・モリブデン精鉱生産対象 (一次硫化銅鉱および二次硫化銅鉱)	10.5	0.34	126
SX-EW法による電気銅生産対象 (酸化銅鉱および低品位二次硫化銅鉱)	3.0	0.25	—

(注)

- ・一次硫化銅鉱：鉱床形成の初めに濃集した銅鉱石。黄銅鉱など。
- ・二次硫化銅鉱：硫化物の酸化によって生じた硫酸が、酸素の乏しい状態で再び一次硫化銅と反応し、新たに濃集形成した銅鉱石。輝銅鉱など。

- ・酸化銅鉱：一次硫化銅が地表付近で雨水や風化により、銅分が溶解し、酸化されたもの。  
胆ばん、孔雀石など。

7. 鉱石処理量： 約 10.3 万トン／日

8. 生産量（見込み）：

（当初 10 年間平均）

銅： 銅精鉱（銅量）	約 15 万トン/年
電気銅	約 3 万トン/年
計	約 18 万トン/年
モリブデン	約 3 千トン/年

（28 年平均）

銅： 銅精鉱（銅量）	約 11 万トン/年（3,141 千トン/28 年）
電気銅	約 1 万トン/年（ 406 千トン/28 年）
計	約 12 万トン/年（総生産銅量 3,547 千トン）
モリブデン：	約 3 千トン/年（総生産モリブデン量 約 8 万 7 千トン）

9. 開発投資額（概算）： 約 20 億米ドル（生産設備等初期投資額）

10. カセロネス銅・モリブデン鉱床の所在地

チリ第三州の州都コピアポ（Copiapo）から南東 162km，アルゼンチンとの国境から 15km に所在。鉱床付近の標高は 4,200m～4,600m。

